学 位 論 文 要 旨

研究題目

Comparison of coronary atherosclerotic disease burden between ST-elevation myocardial infarction and non-ST-elevation myocardial infarction: Non-culprit Gensini score and non-culprit SYNTAX score

(非 ST 上昇型心筋梗塞と ST 上昇型心筋梗塞における非責任病変の重症度に関する比較検討)

兵庫医科大学大学院医学研究科

医科学専攻 器官・代謝制御系

循環器病学 (指導教授 石原 正治)

氏 名 田中 孝昌

急性心筋梗塞 (Acute Myocardial Infarction: AMI) は非 ST 上昇型急性心筋梗塞 (Non ST-Elevation acute Myocardial Infarction: NSTEMI) と ST 上昇型急性心筋梗塞 (ST-Elevation acute Myocardial Infarction: STEMI) に分類される。NSTEMI は STEMI と比べて長期予後が悪いと言われているがその原因は明らかではない。冠動脈における動脈硬化の拡がりは予後に関連する重要な因子とされる。本研究では non-culprit Gensini score と non-culprit the synergy between percutaneous coronary intervention with Taxus and cardiac surgery (SYNTAX) score を用いてそれぞれの動脈硬化の拡がりを比較検討した。2015 年 4 月から 2018 年 11 月の期間で、STEMI 134 症例、NSTEMI 97 症例を対象に兵庫医科大学病院単施設での後ろ向き研究を行なった。今回動脈硬化の拡がりの評価方法として、non-culprit Gensini score と non-culprit SYNTAX score を使用した。これは Gensini score と SYNTAX score を、急性心筋梗塞症例の動脈硬化の拡がりを評価するために修正した新しいスコアリングシステムである。結果は STEMI の non-culprit Gensini score が 16.3 ± 19.8 で、NSTEMI では 31.2 ± 25.4 であり、有意に NSTEMI の点数が STEMI よりも高かった。Non-culprit SYNTAX score においても STEMI (5.8 ± 7.0) より NSTEMI (11.1 ± 9.7) の点数が有意に高かった。また、年齢 (75 歳以上/未満) や脂質異常症、糖尿病、PCI の既往の有無で層別化した STEMI と NSTEMI 間での non-culprit Gensini score と non-culprit SYNTAX score は NSTEMI の点数がいずれの群でも高かった。AMI 症例において冠動脈の動脈硬化の拡がりや重症度は予後の重要な因子と言われている。また、動脈硬化の重症度に関わらず中等度以下の病変からも心筋梗塞は発症する。Gensini score は 25%以上の動脈硬化からその拡がりや重症度を点数化するものである。今後の心血管イベントを予測する上で非責任病変の中等度以下病変も含めた動脈硬化の拡がりを評価することは重要であると考えられる。今回の研究により NSTEMI は STEMI より non-culprit Gensini score と non-culprit SYNTAX score の点数が高かった。NSTEMI は STEMI よりも動脈硬化が拡がっていることが推測され、これは NSTEMI の予後不良因子となる可能性も考えられる。